

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。確は確認項目、加は加点項目、減は減点項目を示す。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	II. 配置技術者 (現場代理人等)	技術者が適切に配置されている	技術者がほぼ適切に配置されている	他の事項に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である
	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。</p> <p>減 <input type="checkbox"/> 現場代理人が工事全体を把握している。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は、監督職員と協議するなどの必要な対応を行っている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 工事監督員への報告を適時及び的確に行っている。</p> <p>減 <input type="checkbox"/> 工事書類を共通仕様書、標準仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、工事書類簡素化に取り組み、提出・提示を行っている。</p> <p>減 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。</p> <p>加 <input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。</p> <p>加 <input type="checkbox"/> 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。</p> <p>加 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、創意工夫の提案をもって工事を進めている。</p> <p>加 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> その他理由:</p>			<p>確 <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<p>確 <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>
		<p>□ / □ = □ %</p> <p>該当項目が 90%以上…………… a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満…………… b</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満…………… c</p> <p>該当項目が 60%未満…………… d</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p>		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。確は確認項目、加は加点項目、減は減点項目を示す。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が適切である	施工管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 契約約款第18条第1項に基づく設計図書の見直しを行い、必要に応じて工事監督員の確認を受けて施工を行っている。(土木工事の場合、起工測量を含む。)</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 施工計画書が設計図書及び現場条件を反映したもとなっている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 工事材料の使用及び調達計画が十分な管理されている。メーカーリスト、承諾図等を必要な時期に提出している。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質を証明する資料及び写真等を整理している。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 立会確認・段階確認の手続きが適時、的確になされている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物及び建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。</p> <p>減 <input type="checkbox"/> 工事打合せ簿等を、不足無く整理している。</p> <p>減 <input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型の建設機械及び車両を使用している。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 工事全般において、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。</p> <p>加 <input type="checkbox"/> 現場環境改善に積極的に取り組んでおり、その内容が具体的に確認できる。</p> <p>※土 加 <input type="checkbox"/> 施工管理(品質管理を除く)に関して、評価できる提案を現場で実施し、その結果が確認できる。</p> <p>※建 確 <input type="checkbox"/> 工事別施工計画書を適時に提出している。</p> <p>※建 確 <input type="checkbox"/> 適時に施工図を提出し、承諾後に施工している。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> その他理由:</p>			<p>確 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<p>確 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>
		<p>該当項目が 90%以上…………… a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満…………… b</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満…………… c</p> <p>該当項目が 60%未満…………… d</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p>		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。確は確認項目、加は加点項目、減は減点項目を示す。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	III. 安全対策	安全対策を適切に行った	安全対策をほぼ適切に行った	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備であった	安全対策が不備であった
	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 災害防止(工事安全)協議会等を1回/月以上、創設工夫のある安全教育・訓練等を半日/月以上、新規入場者教育を適切に実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 大規模な工事等において、工事期間を通じ、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組み、その取り組みが確認できる。</p> <p>加 <input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けていない、または指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告している。</p> <p>加 <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録が整備されている。</p> <p>加 <input type="checkbox"/> 安全管理の臨機の措置を行った。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の点検整備等がなされ、その記録が管理されている。</p> <p>減 <input type="checkbox"/> ヘルメットの着用など、安全対策を適切に実施している。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 工事全体として労働災害防止対策に取り組んでいる。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> その他理由:</p>			<p>確 <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<p>確 <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>
		<p>該当項目が 90%以上…………… a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満…………… b</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満…………… c</p> <p>該当項目が 60%未満…………… d</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p>		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。確は確認項目、加は加点項目、減は減点項目を示す。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	IV. 対外関係	対外関係が適切であった	対外関係がほぼ適切であった	他の事項に該当しない	対外関係がやや不備であった	対外関係が不備であった
	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 関係官公庁や関係機関などと調整を行い、トラブルの発生が無い。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 地元や近隣住民(施設管理者を含む)との調整を行い、トラブルの発生が無い。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。</p> <p>加 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。</p> <p>加 <input type="checkbox"/> 引渡し時に施設管理者に対し、保守管理について適切な説明を行っている。</p> <p>確 <input type="checkbox"/> その他理由:</p>			<p>確 <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<p>確 <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>
		<p>該当項目が 90%以上..... a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満..... c</p> <p>該当項目が 60%未満..... d</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 削除後の評価対象項目が3項目以下の場合には最大b評価とする。(100%:b、～50%:c、～0%:d)</p>		

$$\boxed{} / \boxed{} = \boxed{}\%$$

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形 <input type="checkbox"/>	※農 <input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が施工管理基準値を満足し、そのばらつきが施工管理基準値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が施工管理基準値を満足し、そのばらつきが施工管理基準値以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が施工管理基準値は満足していないが規格値は満足している。	<input type="checkbox"/> 合格ではあるが、c評価より劣る場合。	
		※土 <input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a,bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 合格ではあるが、c評価より劣る場合。	
					<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="text"/> 上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。 <input type="text"/> 上記該当事項があれば・・・ e
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 出来形の評定は、工事全般を通したものとす。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木(農業土木)工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、工事監督員と協議の上で出来形管理を行うものである。</p> <p>④ ばらつきの考え方は別図参照。</p> <p>⑤ 出来形管理が無い、又は軽微な出来形管理の場合は「b」評価以下とする。</p> </div>						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
I. 出来形	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真等(工事監督員等が臨場した資料等)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無い。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部分等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 <input type="checkbox"/> その他理由:			<p>確 <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<p>確 <input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>
		<p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %</p> <p>該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 70%以上90%未満…………… b 該当項目が 50%以上70%未満…………… c 該当項目が 50%未満…………… d</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。</p>		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
I. 出来形	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状および寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真等(工事監督員等が臨場した資料等)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき、管理している。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。 <input type="checkbox"/> 測定機器のキャリブレーションを、定期的実施している。 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:			<p>確 <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<p>確 <input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。</p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>
		<p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %</p> <p>該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 70%以上90%未満…………… b 該当項目が 50%以上70%未満…………… c 該当項目が 50%未満…………… d</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。</p>		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ		品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 品質管理基準で規定している品質管理項目及び基準値を(施工計画書に漏れなく記載し)管理している。 <input type="checkbox"/> 品質管理基準に規定が無く、協会マニュアル等による品質管理基準の適用が必要な場合、その品質管理項目及び基準値を(施工計画書に記載し)管理している。 <input type="checkbox"/> 材料確認が適時に実施され、品質が確認できた。 <input type="checkbox"/> 段階確認(施工状況把握項目含む)が事前協議通りに適時に実施され、品質が確認できた。 <input type="checkbox"/> 工事完成時に工事書類として品質管理図表が提出され、品質管理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成した工事の出来ばえから、品質に問題がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質向上のための特別な対策について、工事打合せ簿等の書面で工事監督員と協議し、施工計画書に反映した後実施され、その効果が確認できる。			<p>確 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<p>確 <input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>
		<p><input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> = <input type="checkbox"/> %</p> <p>該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 70%以上90%未満…………… b 該当項目が 50%以上70%未満…………… c 該当項目が 50%未満…………… d</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。 ③ 削除後の評価対象項目が4項目以下の場合には最大b評価とする。</p>		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。 <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由：			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当事項があれば・・・d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。 上記該当事項があれば・・・e
		該当項目が6項目以上…………… a 該当項目が4項目以上…………… b 該当項目が3項目以下…………… c	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p> </div>			

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	修繕工事(橋脚補強、耐震補、落橋防止等)	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II. 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由：			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。
					上記該当事項があれば・・・ d	上記該当事項があれば・・・ e
		該当項目が 6項目以上…………… a 該当項目が 4項目以上…………… b 該当項目が 3項目以下…………… c	注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。			

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

考査項目	細別	技術力キーワード一覧表	備考
5. 創意工夫	I. 創意工夫	<p>■準備・後片付け関係</p>	
		<p>■施工関係</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。 2. コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。 3. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。 4. 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。 5. 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。 6. 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。 7. 照明などの視界の確保に関する工夫。 8. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。 9. 運搬車両、施工機械等に関する工夫。 10. 支保工、型枠工、足場工、仮栈橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。 11. 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。 12. 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。 13. 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。 14. 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。 15. 特殊な工法や材料を用いた工事。 16. 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。 17. その他： 	
		<p>■品質関係</p> <ol style="list-style-type: none"> 18. 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。 19. コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。 20. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。 21. 配筋、溶接作業等に関する工夫。 22. その他： 	

※1. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とされるが、企業努力を引き立たせるため、本考査項目でも再評価する。

※2. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本場に些細な工夫ではあるが、非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。

※3. 設計変更の対象としない工法や施工段取り等で軽微な行為を記述。

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	技術力キーワード一覧表	備考
5. 創意工夫	I. 創意工夫	<p>■安全衛生関係</p> <p><input type="checkbox"/> 23. 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)</p> <p><input type="checkbox"/> 24. 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 25. 現場事務所、労務者宿舍等の空間及び設備等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 26. 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 27. 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 28. 厳しい作業環境の改善に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 29. 環境保全に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 30. その他:</p> <p>■新技術活用</p> <p><input type="checkbox"/> 31. NETIS登録技術のうち、推奨技術、準推奨技術、活用促進技術を活用している。(品質・施工性の確保・向上等に効果のある場合に限る。)</p> <p>■その他</p>	
	<p>記述評価</p> <p>【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】</p>	<p>評点: _____ 0点</p> <p>※ ・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。</p> <p>・加点は+7点～0点の範囲とする。</p> <p>・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。</p> <p>1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えても良い。</p>	【創意工夫の詳細評価】

※1. 「2. 施工状況」 「3. 出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とされるが、企業努力を引き立たせるため、本考査項目でも再評価する。

※2. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが、非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。

※3. 設計変更の対象としない工法や施工段取り等で軽微な行為を記述。